



# 安心しておろこつて健康にええ大阪ぞいぞい

こないだ近くの銀行の人があいさつにきました。今まで、あまり付き合いのなかったところですよ。

いろいろな話してらうちに、もうひとつ会社つくりたいなあ—  
と言ったら、

「青木さん今、おいくつですか」と聞かれました。

「七二才やけど」と答えると、

「えっ。七二才で、もうひとつ会社つくりろうと思うんですか」と絶句されました。

そんなにびっくりすることですか。

まだ、足腰はしっかりしてるし、口も頭も回ってます。

「頭と足腰はともかく、口だけはよう回りますなあ」

よく会う東京のおっちゃんは、相変わらずこんな減らず口叩きます。

このおっちゃんも、年のこと人にそういえません。還暦をとおに過ぎてます。

まあ僕より若いですけど、

「青木さん、あの人、なんという名前やったですか。ほれ

この前、紹介していただいたあの人ですがな」

なんて、よく聴いてきます。

人のことは言えませんが。

コンソーシアムのつくりだすモノの利用法を  
考えてもらう応援団が欲しいんです

もうひとつの会社というのは、前も書いたけど、ものづくり医療コンソーシアムの応援部隊です。

ものづくり医療コンソーシアムは、医療関係者と製造業の集まりです。医療現場のニーズに応えるために設立されたものです。

それはそれで、大変、意味があるんですけど、中小の製造業者と医療関係者だけだと、どうも発想が似通ってきます。

その周りに、飲食業でも、建設業でも、金融でもええから、多種多様な業種の人に集まってもうて、コンソーシアムでつくり出すモノの利用法なんかを考えてもらう応援部隊が欲しいんです。

応援団は、コンソーシアムがつくり出したモノの情報の提供を受け、検討したり、付加価値をつけたり、やることはいろいろあると思います。

我々、中小企業はつくるのはうまいけど、それを宣伝することや販売は、別の技がいりますからね。それはお医者さんでも同じだと思います。例えば医療技術と病院経営は、同じもんやないでしょう。



●(株)アオキ取締役会長  
**青木 豊彦** (あおき・とよひこ)



1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし、人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。現在は(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事としても活躍中。

お医者さんと言えば、このまえ国立循環器病研究センターの理事長である小川久雄先生という方に、お目にかかりました。このセンターは、大阪の吹田市にあります。

循環器内科言うんは、あまりなじみのない言葉ですが、要は、心臓や血管の循環にかかわる病気を中心に診療する内科やそのです。

ですから、心臓に関する病気はもとより、脳の中の血管の病気である脳卒中なんかも、対象だそうです。

高血圧も循環器内科というから、まさに高齢化社会に必要な不可欠な医療ですわ。

小川先生は二〇一六年に理事長になりました。こういう言い方は失礼かもしれませんが、ご出身は、旧帝大——関西で言うたら京大や阪大ですが——それらやなくて熊本大学です。

そういった経歴の小川先生が、国立の最先端の医療機関の理事長の職に就かれるというのは、よほど人間力のある方でしょう。お会いしてもそう思いました。

**大阪は外国人観光客が世界で一番多く伸びたところです**

このコラムでもよう登場する方に、大阪市立大学の学長・荒川哲男先生がいらっしゃいます。僕は、懇意にさせていただいてますが、先生は医学部長などを経て、学長に就任されました。

大阪市立大学は学長のもと「笑顔あふれる知と健康のグローバル拠点」というスローガンを掲げています。

グローバルはグローバルとローカルを掛け合わせた造語と言

います。

「笑顔」いうところに、大阪という地域に根ざす

公立大学の意気込みが感じられますなあ。医学者

らしく「健康」も入ってます。大阪市民の健康に

も、注意を払っていただけなのでしょう。

なんせ大阪人は、がんの健診率が全国と比べて

も低いらしいですから、困ったもんです。

関西は、「関西イノベーション国際戦略総合特区」で医療を主とした事業の技術革新を盛んにしようという地域です。

これに医療コンソーシアムが加わり、荒川先生、それに小川先生にも一肌脱いでいただいで、関西人の健康、ひいてはアジア人の健康のための地点となれば、関西浮揚のきっかけになるんじゃないでしょうか。

大阪は、二年連続で、外国人観光客が世界で一番多く伸びたところです。安うておいしい観光に加えて、健康にもええ大阪となったら、まだまだ外国人は増えるに違いありません。

夢はいっぱいあります。そや、夢のために僕も健康に注意せなげません。この前、嫁さんに通院の予約してもらったのに、忘れて怒られましたからなあ(笑い)。

(撮影：氏野光子)



●大阪・道頓堀は外国人の注目の的